

1 年

○行事の取組等の学級会で、生徒たちに任せ、もませていく場面を作る。議論が深まるように突き返しや切り返しを行ったり、ディベートやプレゼンなどの手法を取り入れたりしながら、発言力のある生徒の意見だけで安易に決めないようにする。少数意見を大切にし、個々が発言しやすい状況を作っていく。話し合う課題について工夫する。

4 年

・定期的な授業参観と見取りの振り返りを行っていく
・生徒の変容を（肯定的な）見取ったことを共有できるようにカードに書いて担任に渡す

社会

- ・めあてと主発問を教科会で検討する。
- ・資料を根拠に思考や判断し、対話できるように資料を精選し、活用する場面を設定する。

- ①問題解決型の授業になるためのめあて（課題）について検討する。振り返りに新たな気づきや自分の考えが書けるように視点を示していく。
- ②内容を精選して重点化を図り、資料やグラフを比較、関連させながら読み取らせ言語化（書く、話す）させる。それらを根拠に意見交流をする場を設定する。

数学

問題文などから「何が解決できればよいのか」を読み取らせ、議論する内容を焦点化する。

- ①対話や議論を生む課題設定をするために、事象を数理的に捉えさせ、問題を焦点化させる
- ②数学的な用語を用いて説明させたり、根拠を書かせたりさせきる。
- ③振り返り問題や文章での振り返りで自己の成長を自覚させる。
- ④目的を明確にした数学的活動を仕組む。

理科

導入は、できるだけ身の回りの事象から疑問を投げかけ、生徒に探求課題をしっかりとつかませる。また、その疑問を中心に対話や議論を授業に仕組んでいく。

- ①授業のスタンダードに基づき、生徒が主体的な学びにむかえるように、「考えてみたい」「やってみたい」と思う課題設定の工夫をしていく
- ②自分の考えや友だちの考え、また必要な事項をメモができるノートづくりに取り組んでいく
- ③既得の知識や概念、経験を活用して、自然の事象や現象を考えられるようにする(理科の見方・考え方を使って)。
- ④実験構想をしっかりと立てさせる。

国語

- ・友達の考え、意見は緑色でノートにメモをとらせるようにする。
- ・1時間の授業で交流の場（ペア、班、全体いづれかを活用）を設定し、振り返りの視点として、対話を通した考えの変化を表出させる。

- ①身近な課題設定を行い、振り返りは毎時間ノートに 3 行以上、単元終了後 200 字程度書かせる。
- ②対話を生む発問を仕組み、自分や友達の考えが残るノートづくりを行う。
- ③「できた」と感じたり、達成感を味わわせたりできるような単元構成を行う

研究主題

「生徒が本気で取り組み、
力をつける授業づくり」
～対話や議論を生む課題設定の研究を通して～

英語

身近で具体的な目的・場面・状況を設定することで、生徒が主体的に考え、話したり書いたりできるような授業を工夫する

- ①単元ゴールを設定し、目的・場面・状況を明らかにした活動を仕組む。
- ②即興的に話す→その内容を書く→生徒同士や教師による添削、というサイクルを徹底することで、英会話や英作文の正確性を高め、表現の幅を広げる。
- ③授業で『これ単』を活用したやり取りを行い、週 1 回の帯タイムで確認テストを実施する。

保体

- ・互いに気づきあい、小集団で議論を生むワークシートの工夫をする。
- ・1学期行った単元の振り返りを掲示して他者の振り返りを参考に、意見を出し合い次の単元につなげさせる。

- ①健康生活に関する点検の実施・分析
 - ・保健だよりや健体だよりを通じた基本的生活習慣確立の啓発、健康教育の充実
- ②体力テスト意識した授業づくり
 - ・運動量を増やし、意欲を高める授業づくり
- ③運動部活動の充実

美術

導入や自分のテーマを掘り下げる際、または鑑賞の学習で対話的な授業を仕組む。

- ①音楽科との合科による表現活動及び鑑賞教材づくり

音楽

- ・各パートごとに互いに聴き合う場面を設定。
- ・自分たちの合唱を聴き、生徒の言葉から課題の設定を行う。

- ①ゴールを明確にし、毎時間音楽カードに振り返りをさせる。
- ②思考力・表現力を高めるために、鑑賞では、比較、関連させやすい資料、曲を検討し、聴き取った事を言語化させる。また、つどい祭以外の場でも、大きな声で歌えるように、歌声づくりに努めていく。

3 年

- ①終学活の充実（班会、授業評価の振り返りを生かす）
- ②行事を活用したリーダー育成（リーダー活躍の場を設定→リーダーに任せてみる（待つ）→できた→生徒の自己肯定感へ）
- ③進路実現に向けた雰囲気づくり（教員…見通しを持った計画と生徒との共有、生徒…見通しを持った学習計画の作成）

2 年

- ①道徳の授業で対話や議論を生む発問を工夫する。学年部で授業参観をし合い、授業改善につなげる。
- ②総合的な学習の時間でパネルディスカッションやディベートなど、対話や議論の場を意図的に仕組む。
- ③行事に向けて学級や学年で話し合う際には、生徒が主体的に対話や議論ができるよう、教師が支援をする。